

（午後1時45分 再開）

○議長（小林 弘君）休憩前に引き続き会議を開きます。

日程に従い、一般質問を行います。

順番12、16番 田中君。

〔16番（田中博晃君）登壇〕

○16番（田中博晃君）ちょっと暑いですね。これは12番議員がかなり熱くほえてくれたので、これをクールダウンするためには、やっぱり時間ある方はもう今日から市内飲食店で積極的にご飯とかしてほしいなど、私も頑張ろうかなと思います。

それでは、通告に従いまして一般質問を行います。今回は3項目です。

まず、一点目、新型コロナウイルス感染症対策に伴う商工業者支援について。

新型コロナウイルス感染症対策として、市内農業者が生産した農産物を市内在住者が発送する場合の送料無料化については、昨年度及び今年度の対策について喜びの声を多数聞いています。

一方、市内商工業者からは、同じように商品を発送する場合について農業者同様の策を講じてほしいとの声を聞いています。

本市は繊維業をはじめとする産業や一般商店でも様々な製品や商品を製造・販売しており、その全てが素晴らしいものです。市内在住者が他市や県外に発送する際の策を講じれば、コロナ禍で疲弊した商工業者の売上げを少しでも助けることになると思います。

よって、以下の質問を行います。

1、農産物送料補助の昨年度実績と本年度の進捗は。

2、商工業者からはどのような声が届いているか。

3、今後、国や県より新たな補助があった場合、商工業者へも枠を広げては。

2項目め、新型コロナウイルス感染症集団接種について。

本市でも集団接種が8月28日より始まる。既に集団接種を行っている他自治体の情報を集めてみると、当日の混雑により少し混乱を来しているところも見られる。

これらのことを私なりに検証してみると、事前の情報発信が重要だと考える。接種当日はこのような服装が望ましい、問診票はこのように書いてほしい、当日は受付にこの資料を提出しなど、流れを動画やスライドショーで作成し、事前配信並びに、当日、QRコードでも読み込んでもらえるような対策をすれば、混乱が少しでも減少するとともに、受付をはじめとする集団接種に対応する職員や接種希望者の混乱が少しでも減少すると考える。

今後、集団接種のシミュレーションを行う際に、動画で配信することを念頭に撮影を行えば、市民の方への情報発信が無理なく行えると思うが、本市の見解は。

3、市民参加型動画コンテスト等について。

市民参加型の市のPR動画コンペをやってみてはどうかとの話を過去の質問で行ってきた。このご時世遠くに行くのがはばかれるので過去に撮影した写真を動画のように仕上げて、橋本市のいいところ動画をつくっているが表に出す機会がない等、同じような趣味を持つ方からかなりの声をいただいている。

市民の方々に楽しく市行政に興味を持ってもらうために、また、市民協働の一環として、ハッシュタグ `kakeruhashi` 等で開催しているものの動画バージョンの動画コンテストや動画コンペのようなものの開催を

考えてはどうか。行政目線と市民目線では全く違うものができると考えている。

もし予算が許すなら、例えば、市内で使える商品券等を商品として提供し、市内消費を促すこともできると考えるがどうか。

以上、壇上からの質問を終わります。

○議長（小林 弘君）16番 田中君の質問項目1、新型コロナウイルス感染症対策に伴う商工業者支援に対する答弁を求めます。

経済推進部長。

〔経済推進部長（北岡慶久君）登壇〕

○経済推進部長（北岡慶久君）新型コロナウイルス感染症対策に伴う商工業者支援についてお答えします。

まず、一点目の、農産物送料補助の昨年度実績と本年度の進捗ですが、令和2年度実績については、161事業者が登録され、4,928万2,853円を支出しました。1件当たりの送料の平均が約1,000円なので、延べ約5万件の農産物の送付があったこととなります。

次に、本年度6月9日時点での進捗ですが、登録事業者は133事業者となっており、63万7,429円の執行となっています。令和3年度4月補正予算で8,000万円を計上していますので、執行率はまだ低い状況ですが、夏のブドウ、秋の柿の時期に需要が増加すると考えられます。

次に、二点目の、商工業者からはどのような声が届いているかについてお答えします。

農産物送料補助制度が広く市民に周知され、利用が広がる中、商工業者から同様の制度を求める声や、販売が落ち込む中、販売促進に使える支援策を望む声が、関係機関や電話での問合せも含め、少なからず届いています。

最後に、三点目の、今後、国や県より新たな補助があった場合、商工業者へも枠を広げてはとのおただしについてお答えします。

今後、国から新型コロナウイルス感染症に

対する経済対策に関する予算が編成される場合には、商工業者の皆さんが少しでも売上げを向上するために、有効に活用できる支援策を検討してまいります。

なお、経済対策として実施する、みんなで支えあい橋本市生活応援クーポンについて、発送準備を行っている段階ですが、有効に活用いただけるよう周知を図ります。

○議長（小林 弘君）16番 田中君、再質問ありますか。

16番 田中君。

○16番（田中博晃君）答弁ありがとうございます。

先ほどの12番議員、そして、午前中、9番議員の質問の中で一定の答えはもういただいている中での再質問になります。

何でこの質問をするかといいますと、やはり市内企業、業者から、はっきり言って現場の声って市に届いているのかなという問合せを多数受けております。厳しい声も聞いております。

それはもちろん私たち議員だけじゃなくて、市長にも市当局にも行っているかと思えますけれども、やはりもう今の状況というのが、企業努力で何とかできる、そんな状況ではない、そういった声も聞いております。

そこで、農業者支援ということで送料補助もある中で、やはり市内企業さんからは、平等性といった部分から考えても、同じような補助をもらえたら少しでも売上げが上がる、将来も大事やけども今ここを乗り越えないと将来がない、そのような思いもとの質問です。

再質問になるんですけども、もうこれも厳しいのは重々分かった上で、あくまで皆さんの胸にとどめておいていただきたいという趣旨の質問です。

ふるさと便、昨年度、答弁でもいただきま

したけれども、5,000万円ぐらいあって、今年度はまだ始まったばかりですけれども、今後春物、夏物というのが出ていく中で、相当、金額、送料というのが出ていくのかなと考えております。

とはいえ、もし、こんなことあってほしくないんですけれども、もし早い段階で、あれ、思ったより送料出てないなどなった場合に、その予算を流用して組み替えてくれというんじゃないんです。使い道の一つとして、中小企業、商工業者というところもどこかにとどめておいてほしい。そういうのも、そんな声も届いているという部分で、とどめておいてほしいという観点で何か対策、もちろんお金のことなので、市内部で調整はしていかならなすけれども、そういったところで何かないでしょうか。

○議長（小林 弘君）経済推進部長。

○経済推進部長（北岡慶久君）令和3年度橋本ふるさと便につきましては、令和3年4月補正予算により措置されまして、令和3年5月1日から令和4年1月31日までに市内の農家等が送付する農産物や農産加工品の送料を補助するものです。

令和4年1月31日までが対象ということで、毎月の進捗状況をホームページで公表しつつ、議員のおただしのように、どこかの時点で予算が大幅に余っている、それから足りない、どちらにとっても大きな問題になりますので、そういったところを関係部局といつも着目しながら精査し、私たちとして相談をしながら対応していきたいと、そんなふうを考えていますので、ご理解いただきたいと思ひます。

○議長（小林 弘君）16番 田中君。

○16番（田中博晃君）よろしくお願ひいたします。もちろん、もう予算のことなので、もうその辺は分かっております。ただ、ほんまの気持ちに置いておいてほしいなど、そ

う意味です。よろしくお願ひいたします。

同じように、今、橋本市では新商品開発の補助関係も、ちょっと前かな、そういうコンペみたいなこともしたというふうに聞いておりますし、また、ふるさと納税の中でも、ふるさと納税の登録業者だけですけれども、送料無料でなっているのかなというふうには思っております。

そこで、趣旨から外れたら、議長、止めてください。そういった観点で考えても、何らかの形、地場産の基準というのか、あれも私も見ました。緩いようできついでよく分からないというのはあるんですけれども、その辺りも含めて、市内商工業者が前向きに積極的に参加できるような対応、また、それに対する情報発信についてはいかがでしょうか。

○議長（小林 弘君）経済推進部長。

○経済推進部長（北岡慶久君）ふるさと納税については、昨年度実績で2億5,000万円に到達していないということが2年連続起こっています。新たな目標を達成するには、今までと同じようなやり方ではなかなか達成はできないと思っています。

そういった中で市だけが頑張ろうと思ってもどうにもなりませんので、事業者の皆さんから新たな提案であったり、市として、例えば、これまでこういったことについてはなかなかふるさと納税返礼品として扱えなかったというところについて、一定の見直しをかけて、新たなふるさと納税返礼品の登録も今現在、非常なかけ足で進んでいるという状況があります。

そういったことで、市内の飲食店も含めた様々な事業所の中で送料負担の相談等があった場合には、こういったふるさと納税もありますという周知を図って、ふるさと納税返礼品の登録もお願ひしつつ、橋本市をPRしていこうというふうに考えています。

○議長（小林 弘君）16番 田中君。

○16番（田中博晃君）よろしくお願ひいたします。

ほんま、12番議員がさっき言っていましたし、私もずっと思っているのが、市内業者っていろんな業者あります。例えば、ここのお肉を送って自分とこの孫に食べさせたってるんやとか、タオル送ってもええやろうし、繊維製品もたくさんあります。飲食店では何とか生き残っていくために、真空パックして発送できるような商品を、たくさん、皆さん作られているんです。

その辺りのものを何とか周知を図って、その中で予算、国からの予算、コロナなので国がもう主導というのはいまよく分かっていますので、そういうのがあった時には様々な団体が参加できるようなシステムをつくっていただきたい、情報発信をしていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

1項目を終わります。

○議長（小林 弘君）次に、質問項目2、新型コロナウイルス感染症集団接種に対する答弁を求めます。

健康福祉部長。

〔健康福祉部長（土井加奈子君）登壇〕

○健康福祉部長（土井加奈子君）新型コロナウイルス感染症集団接種についてお答えします。

本市では現在、市内37の医療機関のご協力のもと、65歳以上の高齢者へのワクチン接種を実施しており、2回目の接種を完了された方もおられ、順調に接種が進んでいます。また、16歳から64歳の方への接種券の発送がほぼ完了し、高齢者に続き、順次接種を実施します。

今後、64歳以下の一般の接種については、高齢者に比べ対象人数が多く、また、休日における接種の需要が見込まれることから、本

市保健福祉センターにおいて8月28日から10月24日までの間、6クール12回の集団接種を実施するよう準備を進めています。

集団接種では1日最大360名の接種希望者を受け入れるため、会場における混雑を緩和し、スムーズに接種を進めることが重要であると考えており、集団接種を希望される皆さんに向けて、予約時間を守っていただくこと、予診票を自宅で記載していただくこと、また、肩を出しやすい服装での来場を促すなど、事前に周知する取組が必要であります。

議員おただしのとおり、接種についての流れを撮影し、その動画を広く市民の方に事前に視聴していただけるよう、7月22日に実施を予定している集団接種のシミュレーションにて動画を撮影し、公開していきたいと考えています。

動画の内容については、予診票の書き方、本人確認書類、接種会場での流れや注意事項などを分かりやすく示していきたいと考えています。

また、集団接種の先行自治体への視察に赴き、会場の様子を見学や担当者との意見交換を行うなど、参考にしたいと考えています。

今後も引き続き、希望される方に1日でも早く安全に接種ができるよう努めてまいります。

○議長（小林 弘君）16番 田中君、再質問ありますか。

16番 田中君。

○16番（田中博晃君）答弁ありがとうございます。

以前から、これとは違う質問で動画の質問とかでもよく言っているのは、取扱い説明書はもう動画の時代になっているという部分で、コロナワクチン集団接種に関しても、絶対混乱してあると思うんです、どれだけ準備しても、でも、その混乱を少しでも緩和する、円

滑にいくためには、こういう動画も一つの手
段としていいのではないかとという提案で、や
ってくださるといふことで、ぜひお願いした
い。

私自身はワクチンはチャンスがあれば打と
うと思っています。やはり、打つ打てへんは、
どうしてもこれは任意なので、個人の判断に
委ねられるものですけれども、うちの娘も今
年高3で受験控えていると。もし受験時期に
コロナになったら嫌やから、余計な心配した
くないから打とうというような判断もしてい
ますし、また、逆もあって当然のことです。

実際、陽性なのか発症なのか感染なのかと、
どれを取るねんというのもあるんですけども、
その辺は多分、次、17番議員がねちねちと細
かくやってくださると思っていますので、そ
こはちょっとスルーしまして、QRコードの
部分なんですけれども、ちょっと答弁なかつ
たんですけれども、やはりQRコード、恐ら
く当日受付へ行って、じゃ、ちょっと待っ
ててください、車がある方は車で待機しとい
てくださいという流れになるかと思うんです
けれども、動画のQRをつくること、できや
んのやったら僕らすぐできると思いますし、
QRコードを作って見てもらうだけで混乱が
少しでも、ちょっとだけ収まるかもしれない。
ちょっと質問しようと思うとった内容がこれ
見たら分かるわという状態になるかもしれな
い。

受付に張るのもよし、例えば、入り口にQ
Rコードを印刷して、ぱんと張っといたら、
それだけで読み込んでさえもらえたら、恐ら
く1分、2分の動画だと思えますので、ちょ
っとでも混乱が収まるのかなと。

私、知り合いの医者に聞いたら、どんなと
き一番困ったと聞いたら、服装と言われたん
です。テレビとかマスコミとかで肩の出ると
いう話をよくされているんですけども、実際な

かなか、皆さんが皆さん、すぐ肩を出せる服
装で来ていない。

打つ人数は少ないけども、ちょっとトイレ
で脱いできてもらおうとかで、そこで時間がか
かってしまうようなことも言うていましたの
で、そういった部分、恐らく入れてくださる
と思うんやけども、QRコードについてはつ
くっていけると思うんですけれども、いかが
ですか。

○議長（小林 弘君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（土井加奈子君）答弁の中に
含まれず、失礼いたしました。

QRコードにつきましては、実はさきの、
前回の一般質問で議員がおっしゃっていただ
きました、映像を撮るといふ、そういうグル
ープがあればということで、映像研究部が自
主研究グループとして立ち上がったわけなん
ですけども、多分これが初めての作品になる
のかなと思っています。

担当に確認しましたら、QRコードはでき
るということで、活用させていただきます。
また、できれば広報に載せることですか、
あと職員についても、だいたいこの6クール
12回で約100名ぐらいの職員に全庁的に手伝
ってもらふこととなります。その100人全員が
シミュレーションに来れるわけではございま
せんので、その動画を見てイメージをつけた
上で業務にあたっていけるのかなと思ってお
りますので、議員がおっしゃっていただいた
ように、立て看板や受付のみならず、そのよ
うに活用させていただきたいと思えます。

○議長（小林 弘君）16番 田中君。

○16番（田中博晃君）よろしくお願いいたし
ます。何かこんな、やります、やりますとい
うのは初めてかもしれん。ありがとうございます。
ほんまに、いや、うれしいんです。あ
りありがとうございます。何か、言うことなくな
ってもうた。やるのに文句言うのもおかしい

でしょう。

ただ、ほんま、動画とかってやっぱりどうしても完璧なものをめざしたら時間がかかるので、例えば、バージョン1はまだ文字も入ってない、手話もちよつとないけども、次々でどんどん改革していったらいいと思いますし、早く出すということが大切なのかなというふうにも考えております。

広報は今から8月になりますけれども、例えば、もう第1弾は早めにホームページにアップしているよとかというのも可能だと思いますので、その辺りも検討いただけたらと思います。

これで二つ目を終わります。

○議長（小林 弘君）次に、質問項目3、市民参加動画コンテスト等に対する答弁を求めます。

経済推進部長。

〔経済推進部長（北岡慶久君）登壇〕

○経済推進部長（北岡慶久君）市民参加型動画コンテスト等についてお答えします。

現在、インスタグラムで本市の公式アカウントを開設し、2,000人余りのフォロワーがいます。また、ハッシュタグk a k e r u__h a s h iをつけての投稿は5,000件を超えており、インスタグラムの機能を使って短い動画を投稿している方もいます。

コロナ禍のため、令和3年度も高野口公園の桜まつりは開催することができませんでした。実行委員会主催でインスタグラムによるフォトコンテストを実施し、すてきな桜の写真の投稿を多数いただきました。

スマートフォン等の機能が向上したことで、より動画の撮影や編集が簡単になったことで、本市でも若手職員中心に映像研究部が立ち上がる等、より多くの人々が気軽に動画撮影を楽しむようになり、それぞれの方の目線で本市のよいところを発信しています。

市民の皆さんに気軽に行政と関わりを持っていただくきっかけとして、また、本市の撮影スポットを市民目線で把握する手法の一つとして、ご提案いただいた動画コンテストは有効な手段になると考えられます。企業協賛等の商品提供も含めて、早急に制度検討を行い、実施していきたいと思っております。

○議長（小林 弘君）16番 田中君、再質問ありますか。

16番 田中君。

○16番（田中博晃君）ありがとうございます。何か今日は、ええ感じ。

こういう質問、私も以前から何回もさせてもらっています。1年生議員のときに18番議員がアニメで聖地の関係の質問を当時されていて、それを聞いたときに私すごいなと思いました。ただ、そのときって何か、まだ世間の雰囲気は何だったのか、失笑みたいなこともあったんですけども、これは時代が変わったのかどうなのかはよく分かりませんが、やはり市民目線で、行政が仕事ではなく、市民から情報を集めて市民協働という部分でやっていく、情報を集めるということは、やはり市にとってすごい重要なことなんだと。それがようやく周知されつつあるのかなというふうに考えています。

今年度というのか、今年、このコロナ禍の中でなかなか外へ出歩けないというような中なんですけれども、私自身も市に対して様々な情報提供をしてきました。経済推進部の方であったり秘書広報課の方であったり、すごくフットワーク軽く現場を見に来て、ああ、ここええやんと写真を撮ったりというのをやってくださっていますし、自分自身もインスタグラムやフェイスブックで上げたやつに対して、県内外問わず、今年一番多かったのは、蛍の画像を上げたときにとんでもなく問合せが来たんです。橋本ってそんなところあるんや

と。市民の方も知らなかった。もちろん、市外の方も知らなかった。

というのは、それだけで人が集まる要素であるのかなど。県内でもG o T oが始まろうとしているんですけれども、最近、いろいろな自治体で動画のコンペをどんどんやっています。また、旅行会社も動画、写真を集めたりやっています。

これは何でかというたら、やはり新型コロナウイルス感染症対策が一定の効果があることを見越してというのか、そのときにすぐに動ける体制を取っておるのかなど。それをすることによって、まず、お金がかからない。ここが一番重要。お金がかからずに情報をいっぱい集められるというのがあります。

ちょっと画像を出してもらっていいですか。

これ徳之島なんやけども、ここは例えばグランプリ30万円で動画のコンテストをやるよ。その次、これ蒲郡市、G a m a T u b e。ここはたしか1分とかそれぐらいで、優秀賞、商品券10万円相当、トロフィーとか。静岡県島田市、ここも賞金12万円。面白いのがここなんですけれども、これ市内の公園限定なんです、福島市。この公園とこの公園とこの公園で動画をちょっと撮ってよというのもやっています。

というふうに、すごく市民参加を促している。先ほどもう部長が答弁でやっていくよというのを言うてくれたんですけども、そのときに特に内容として考えておいてほしい、これをやってくれと言うんじゃないんですけれども、検討材料の一つとして入れておいてほしいのが、まず、2次配布ができるかどうか。動画なので、市がもらった、でも、もらったけどもそれをよそへ出せないとなったら具合が悪いので、2次配布。

あと加工。ちょっとここをいじっとかんと、市の公式として出しにくいよ、仮に公式にな

るんやったらという部分なんですけれども、そういった許可等も検討材料の一つに入れてもらえたら、よりよいものができると思うんですけれども、いかがですか。

○議長（小林 弘君）経済推進部長。

○経済推進部長（北岡慶久君）今、インスタグラムでハッシュタグk a k e r u _ h a s h iをつけての投稿者について、写真等を行政で活用させていただくという場合には、まず本人に連絡を取って、使用の承諾、同意もいただいています。

もちろん、k a k e r u _ h a s h iというハッシュタグをつけていただくことで、先ほど議員の言われた2次配布とか加工等も含めた了解をいただいているつもりではあるんですが、やっぱり利用させていただくとすると、きっちりとそういった説明が必要だというふうに思います。

特に、今回ご提案いただいている動画等については、編集のかなりの知識も必要ですし、看板や人物等を取り除くという、そういったことも必要なことも起こり得ると思いますので、募集の段階で、できるだけそういったものがないものを活用いただく。人物の場合は本人の了解を得て投稿していただくという、そういった詳細なルールをつけて募集を制度設計したいと、そんなふうに考えています。

○議長（小林 弘君）16番 田中君。

○16番（田中博晃君）よろしく願いいたします。

インスタグラムとかツイッター、よその自治体なんかはよく、うちではしぼう、橋本市の妖精のはしぼうなんか、よその町でもゆるキャラはたくさんいます。そこが公式のアカウントを取って、その方がリツイートしたりであったり、いいねを送ったりということで、今度それをもとにまた違うところで盛り上がるという。

これすごい小さいことのように思われるかもしれないけれども、そんなことですら盛り上がっていきける。それこそ、そのご当地のゆるキャラに会いに行こうと。ゆるキャラ自体がもう今どんどん落ちていっている時代かもしれないけれども、それでもそういうのがある。

残念ながら橋本市、はしぼうの公式のアカウントがまだないので、もし部長、会う機会があったら、ぜひつくるように言ってほしいです。そこから絶対広がっていくものってありますので、公式でもし、妖精なので会えるかどうか分からないですけれども、それで、もしそこがリツイートなりしたら、そこから盛り上がるものもあると思うので、そういうこともこのときの検討材料の一つに入れたいてもらえたらいいのかなというふうに考えております。

それと、もう一点質問します。

ずっともう私、この質問は平成29年ぐらいからやっているんですけれども、そのときから言っているのは、写真とか動画、市民の皆さんも最終的には自由に使えるように、例えば飲食店等がメニューで使いたいときに、ここからこの写真を撮ったら橋本市の景色がとかというのを撮ったらええわと、こんなどうやという話もしてきていました。これについては容量等の問題もあって難しいというのは分かるんです。

そこで、もう一個提案したいのが、せめて市の庁内だけ、どこが窓口、恐らく経済推進部が窓口になるかと思うんですけれども、動画なり写真なりを庁内で共有できるアーカイブをつくって、例えば建設部局が何かチラシまかんなんよというときになったら、そこから写真を取り出したら、ちょうどいとか言いに行く手間も省けるし、私自身も議会に来させてもらって、最初の頃は議会だよりの表紙

の写真を探すのにどこへ行ったらいいんやろうかというようなことがありました。共有のアーカイブをつくるぐらいやったらハードルも全然高くないのかなと。

そこで、例えば行事ごと、季節ごと、種別ごとのフォルダ分けさえすれば、動画なんかもすごく簡単にいろんな方が共有してやっていけると。またこんな言うたら、いや、パソコンの容量がとかそういう話になるかと思うんですけれども、これこそ無料のクラウドを使ってもさほど容量は食わんのかなというふうにも思います。

そういった観点で、今後の検討課題にはなるかと思うんですけれども、まずは庁内の共有から始めて、どこでおってもこれ使えるやんというような形をつくっていけやんかなと思うんですけれども、いかがでしょうか。

○議長（小林 弘君）経済推進部長。

○経済推進部長（北岡慶久君）今現在、職員が自由に閲覧できるものに業務共有ツールというサイトというんですかコモンフォルダというのがあります。その中には、例えばシティセールス推進課からですと、市章であったり、それからはしぼうのカット集、それからk a k e r u _ h a s h iのロゴ等を自由に職員の皆さんが活用できるような状態にしています。

今ご提案のある、写真、それから動画等については、確かに容量の確保をどのようにするかという本当に大きな課題があるんですが、原課のほうでパンフレットを作ったりチラシを作ったり、それから、要綱等をつくる際に様々な、市の花の写真はないですか、はしぼうの写真はないですかというような問合せがあちこちから来ているという状況は確かですので、そういった、事務を改善するという意味でも整理をしていく必要があるというふうに思っていますので、今後、庁内でそういっ

た機会に提案していきたいと、そんなふうに
考えています。やります。

○議長（小林 弘君）16番 田中君の一般質
問は終わりました。

この際、2時30分まで休憩いたします。

（午後2時19分 休憩）